VR-CPRM 取扱説明書

DVD PLAYER

製品型番：

DS-DPC261BK

（ブラック）



注意：DVD、及び各種メディアの再生に関して

●本製品は「リージョンコード 2」に対応しています。
2 以外のディスクの再生はできません。



●特にお客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスクにつきましては録画機器やメディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等の組み合わせも多岐に渡るため読み込みに時間がかかったり再生できない場合があります。DVD-RAM の読み込みはできません。

●デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり録画状態によっては認識できない場合もあります。

●リモコンの「映像出力」ボタン、及び「P / N」ボタンは誤って操作しないようにご注意ください。映像出力やテレビ方式の設定を誤ると、映像を正常に出力できなくなります。

目次

はじめに

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

● DVD プレーヤー本体　●リモコン　● AV ケーブル　●取扱説明書
●クイックガイド　●保証書

使用上の注意

●電圧が接続コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100 ～ 240V）。
●クリーニングする場合はシンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所や火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や置き去りはおやめください。本体の変形や故障の原因となります。
●静電気の多い場所やほこりの多い場所で使用しないでください。故障の原因となります。
●風呂場等、水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で本体及びリモコンを操作しないでください。ショートによる故障および感電の原因となります。
●分解や改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。分解や改造が行なわれた製品は弊社保証の対象外となり修理をお断りします。
●落としたり、踏んだりしないでください。また、本体に加重を加えたり衝撃を与えたりしないでください。
●異臭や煙が出る、及び異常な音等がしましたら本体の電源プラグをコンセントから抜いて速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●小さなお子様が使用する場合には、電気製品及び本製品の取り扱いを理解した大人の監視と指導

のもとで行うようにしてください。

●コネクタに接続ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火のおそれがあります。

●本製品は無線周波を放射する為、他のオーディオ機器等の電波妨害を引き起こす恐れがあります。その場合は電源を切り、コンセントを抜いてください。対処法としては本機または他のオーディオ機器の配置、もしくはコンセントの差し込み位置を変えてください。また、それぞれのオーディオ機器との距離をとることも効果的です。

●長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください。

●本製品の使用に関しまして、本書の説明と明らかに異なる操作や目的に使用した場合は故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となりますので絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

●ディスクトレイには、DVD や CD 以外の異物を挿入しないでください。また、メディア・USB スロットについても対応メディア以外は挿入しないでください。

DVD・CD 再生についての注意

●本機はクラス 1 レーザー製品に分類されています。クラス 1 レーザー製品のラベルは、本プレーヤー背面に添付されています。

●コンパクトディスク（CD）規格に準拠していない著作権保護技術付きの市販されている音楽ディスク、またはコピーコントロール CD につきましては動作や音質を保証できません。本製品での再生にあたり、音楽ディスクのパッケージの表示をよくお読みください。

●テレビで放映された映像やビデオソフトを営利目的、または公衆に視聴させる事を目的として画面の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

●お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（CD-R/RW、DVD-R/RW 等）につきましてはレコーダーやメディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。特に VR モード・CPRM で録画したディスクにつきましては条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります。
また、DVD-RAM の読み込みはできません。

※レコーダーにはビデオ (DVD-Video) モードと VR モードの記録方式があり、ビデオモードは市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。VR モードはビデオレコーディングフォーマットで、多彩な録画編集機能が特徴ですが、VR 方式に対応した機器でのみ再生可能です。

※作成ディスクにつきましては必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。

●ご自身で作成したメディアの読み込みには、多少お時間がかかる場合があります。再生上の不具合が出た場合は、一度ディスクを取り出した後にもう一度再生を行うと読み込み始める場合がありますのでお試しください。

リージョンコード

DVD ソフト及びプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されています。DVD ソフトとプレーヤー両者のリージョンコードが一致しなければ、ソフトを再生することができません。

※注意：本製品のリージョンコードは「2」です。それ以外の DVD ソフトは再生できません。



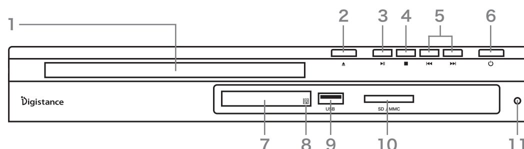
リージョン 1	アメリカ・カナダ
リージョン 2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン 3	東アジア・東南アジア・香港
リージョン 4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン 5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン 6	中国

予めご了承いただきたいこと

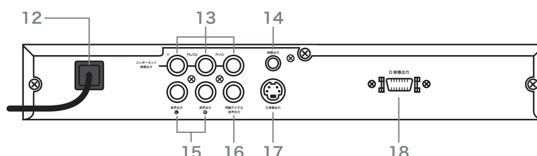
- ●本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
- ●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- ●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断での使用はできません。
- ●万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- ●接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。
- ●地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。
- ●故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。
- ●保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等は弊社では一切の責任を負えません。
- ●一般家庭内での使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動・防犯等）として使用した場合や、家庭内でも過度に長時間連続で使用した場合は保証の対象外となります。また、日本国内での使用を前提として製造されています。海外での使用に関する保証およびサポート対応はできません。

1 DVDプレーヤー リモコン各部機能

●本体前面

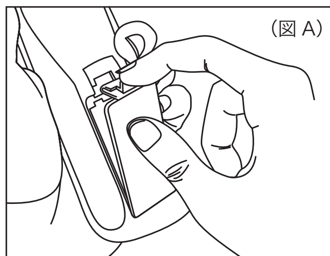


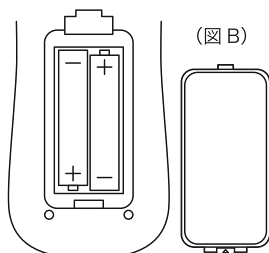
●本体背面



No.	名　称	機　能
1	ディスクトレイ	DVD や CD をセットします。
2	オープンボタン	ディスクトレイを開閉します。
3	再生／一時停止ボタン	ディスクの再生、及び再生中に一時停止動作を行ないます。
4	停止ボタン	再生中に押すと停止します。
5	頭出し（進む／戻る）ボタン	DVD（CD）を再生中、前もしくは次のチャプター（トラック）を頭出しします。
6	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
7	ディスプレイ	再生中のチャプターや時間を表示します。
8	リモコン受光部	リモコン操作はこちらに向けて行ないます。
9	USB スロット	USB メディアを挿入します。
10	SD / MMC スロット	SD / MMC メディアを挿入します。
11	電源ランプ	通電するとランプが点きます。
12	電源ケーブル	電源コンセントに接続します。
13	コンポーネント映像	テレビに接続してコンポーネント映像を出力します。接続には別途コンポーネント映像ケーブルが必要です。
14	コンポジット映像	テレビに接続してコンポジット映像を出力します。付属の AV ケーブルで接続します。
15	2ch 音声	テレビに接続して 2ch 音声を出力します。付属の AV ケーブルで接続します。
16	デジタル音声	スピーカーセットに接続してデジタル音声を出力します。別途デジタル音声ケーブルが必要です。
17	S 映像	テレビに接続して S 映像を出力します。接続には別途 S 映像ケーブルが必要です。
18	D1 映像	テレビに接続して D1 映像を出力します。接続には別途 D 映像ケーブルが必要です。

1 電源
2 インフォ
3 映像出力
4 P/N
5 プログラム
6 セットアップ
7 メニュー
8 ▲ ◀ 決定 ▶ ▼
9 PBC
10 リターン
11 巻戻し / 早送り
12 再生/一時停止
13 停止
14 音声
15 コマ送り
16 L/R
17 A-B
18 消音
19 リピート
20 開/閉
21 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 10+
22 サーチ
23 タイトル
24 サブタイトル
25 アングル
26 ズーム
27 スキップ(戻) / スキップ(進)
28 レジューム
29 スロー
30 音量 + −


(図 A)


(図 B)

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
2	インフォ	時間情報の表示／非表示を切り替えます。
3	映像出力	映像出力方式を切り替えます。**間違った映像出力に設定すると映像を正しく映し出せません。**
4	P ／ N	テレビ方式を切り替えます。**間違ったテレビ方式に設定すると映像を正しく映し出せません。** 日本国内で販売されているテレビに接続する時は通常 NTSC 以外には切り替えないでください。
5	プログラム	指定した順番で再生します。
6	セットアップ	セットアップ画面を表示します。
7	メニュー	ディスクメニュー画面を表示します。DVD ソフトによっては対応していません。
8	方向／決定	方向ボタンで選択項目を上下左右に移動させ、決定ボタンで確定します。
9	PBC	SVCD、VCD2.0 ディスクを再生時に PBC 機能のオン／オフを切り替えます。
10	リターン	メディアの選択画面を表示します。
11	早送り／早戻し	早送り、もしくは巻戻しを行います。
12	再生／一時停止	ディスクの再生、および再生中の一時停止に使用します。
13	停止	1 度押した場合は再生位置を記憶して止まり、2 度押すと再生位置の記憶は消去されます。
14	音声	収録言語を切り替えます。DVD ソフトによっては対応していません。
15	コマ送り	コマ送り再生をします。
16	L ／ R	音声出力を切り替えます。(CD 再生時に限り有効)。
17	リピート A-B	範囲（始点：A、終点：B）を指定し、その区間を繰り返し再生します。
18	消音	音声出力を一時的に消します。もう一度ボタンを押すと、消音は解除されます。
19	リピート	同じチャプター、もしくはタイトル全体を繰り返し再生します。
20	開／閉	ディスクトレイを開閉します。
21	数字	・0 〜 9：数字を使った選択項目の入力に使用します。通常再生中に数字入力すると、指定したタイトルにジャンプします。(DVD によっては使用できません)。 ・＋ 10：10 以上の番号を入力するときに使用します。990 まで入力できます。例：31 と指定したい場合は、＋ 10 ボタンを 3 回押した後、1 ボタンを押します。
22	サーチ	指定のタイトル・チャプターにジャンプします。
23	タイトル	タイトルメニューを表示します。DVD ソフトによっては対応しません。
24	サブタイトル	字幕表示を切り替えます。DVD ソフトによっては対応しません。
25	アングル	アングルを切り替えます。DVD ソフトによっては対応しません。
26	ズーム	画面の一部分を拡大表示します。押す毎に、拡大倍率が切り替わります。
27	スキップ（進／戻）	DVD（CD）を再生中、前もしくは後のチャプター（トラック）を頭出しします。
28	レジューム	再生中に停止ボタンを一度押して停止させた時、レジュームボタンを押すと停止した場面の続きから読み込み始めます。
29	スロー	ゆっくりした速度で再生します。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
30	音量	音量を調節します。

リモコン用電池のセット／交換

①リモコンを裏面にします。電池カバーを上部のツマミを押しながら本体から取り外します (図 A)。

②図の向きで単四型乾電池を 2 本セットしてください（マンガン電池推奨、図 B)。

③電池カバーを装着する時は取り外し時同様にツマミを押しながらしっかりとはめ込んでください。

※リモコン用電池は、単四型乾電池 2 本です。付属の電池は動作確認用ですので、すぐにバッテリーが切れてしまうことがあります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。

※長期間本製品を使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

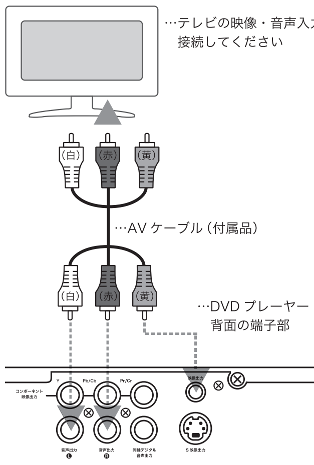
2 DVDプレーヤーと外部機器、電源の接続

DVD プレーヤー本体と各機器を接続します。一般的な赤・白・黄色の端子の接続は付属の AV ケーブルを使用します。その他の接続は別途ケーブルが必要になります。各図を参考にプレーヤー背面の出力端子と接続機器の対応する入力端子を接続してください。

①付属の AV ケーブルを使ったテレビとの接続

付属 AV ケーブルを使った一般的な接続をご紹介します。下図①を参考にプレーヤー背面の音声・映像出力とテレビの対応する端子を接続してください。

※接続には付属 AV ケーブルを使用します。

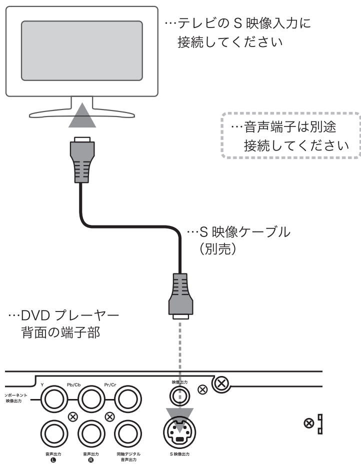


〈図①：2ch 音声、コンポジット映像接続〉

②テレビとの接続：S 映像

S 映像端子を使用した接続をご紹介します。下図②を参考にプレーヤー背面の S 映像出力とテレビの対応する端子を接続してください。

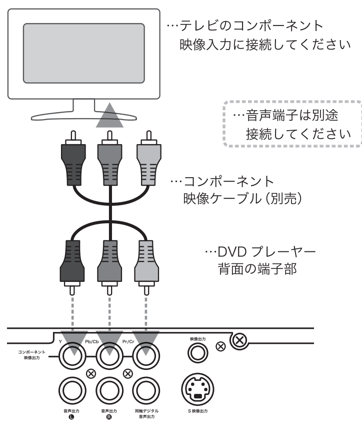
※接続には別途 S 映像ケーブルが必要です。



〈図②：S 映像での接続〉

③テレビとの接続：コンポーネント映像

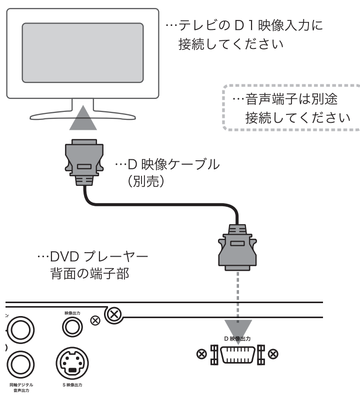
コンポーネント映像端子を使用した接続をご紹介します。図③を参考にプレーヤー背面のコンポーネント映像出力とテレビの対応する端子を接続してください。



〈図③：コンポーネント映像接続〉

④テレビとの接続：D1 映像

D 映像端子を使用した接続をご紹介します。下図④を参考にプレーヤー背面の D 映像出力とテレビの対応する端子を接続してください。



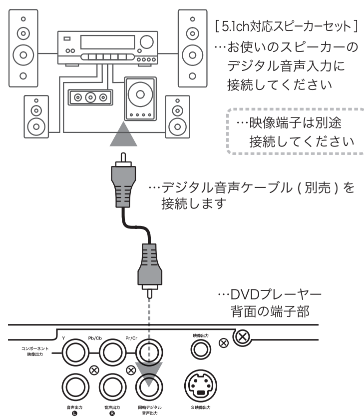
〈図④：D 映像接続〉

※上記③・④の接続にはコンポーネント映像ケーブル、もしくは D 映像ケーブルが必要です。
※セットアップ画面を開いて、映像出力の設定を切り替えてください（P17）。

⑤スピーカーとの接続：デジタル音声

デジタル音声を使用したスピーカーセットとの接続をご紹介します。図⑤を参考にプレーヤー背面のデジタル音声出力とスピーカーの対応する端子を接続してください。

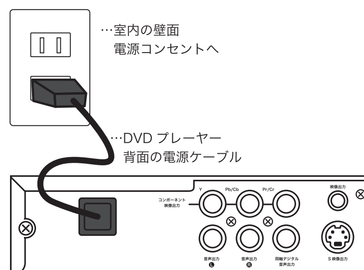
※接続にはデジタル音声ケーブルが必要です。
※セットアップ画面を開いて、オーディオ出力に関する設定を行ってください（P19）。



〈図⑤：デジタル音声接続〉

⑥電源コンセントとの接続

DVD プレーヤーとテレビの接続が終わったら、電源ケーブルを電源コンセントに接続してください。



〈図⑥：電源コンセントとの接続〉

3 DVD・CD再生時の基本操作

①接続テレビ、DVD プレーヤー本体の電源をオンにします

[手順 1]：接続テレビの電源をオンにして、入力切替をしてください

…テレビ側の入力端子が複数ある場合は、DVD プレーヤーを接続した端子の入力モードに切り替えてください（外部入力、ビデオ 1 等)。



〈DVD プレーヤーの起動画面〉

[手順 2]：DVD プレーヤーの電源をオンにしてください

…DVD プレーヤー本体の電源ボタンを押してオンにするとテレビ画面上に、上図の起動画面が表示されます。

② DVD ディスクをセットします

…リモコンの開／閉ボタンを押すとトレイが開きます。レーベル面を上にしてディスクを 1 枚セットしてください。開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉じると、再生が始まります。



〈再生ディスクに関する注意〉

●ディスクトレイ内部にCDやDVD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

●本製品は「リージョン 2」に対応しています。2 以外のディスクの再生はできません。

●ディスク（特に作成ディスク）によっては、一部の再生中の操作や設定ができない場合もあります。

●お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（DVD-R/RW など）については、レコーダーやメディアの種類、ファイルエンコードやコーデックの種類等の組み合わせも多岐に渡るため、再生できない場合があります。また、DVD-RAM、DVD-R DL の読み込みはできません。VR モード・CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります（本機での再生前に必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください)。

〈タイトルメニューの表示〉

複数のタイトルを収録した DVD では読み込むと、まず DVD タイトルメニューが表示されます。メニュー画面内では方向ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定すると再生が始まります。

再生中にリモコンのメニューボタン、もしくはタイトルボタンを押すと、DVD タイトルメニューにジャンプします。



〈参考：DVDソフトのメニュー画面の例〉

※ DVD によっては、メニュー・タイトルボタンが動作しない場合もあります。

〈再生／一時停止／停止〉

●**再生と一時停止：**ディスクの再生中、再生ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度再生ボタンを押すと一時停止は解除され、続きから再生が始まります。

●**停止**：再生中に停止ボタンを一度押すと、再生していた位置を記憶したまま停止します。この状態で再生ボタンを押すと、続きから再生が始まります。再生中に停止ボタンを 2 回押した場合、再生位置の記憶は消去されます。次回再生をしたときはディスクの最初から読み込みます。

〈頭出し／スキップ〉

…再生中にスキップボタンを押すと次もしくは前のチャプターの頭出しが行なわれます。

〈早送り／巻戻し〉

…再生中に早送り（巻戻し）ボタンを押す毎に、早送り（巻戻し）速度が切り替わります。

※早送り／巻戻し中、音声は出力されません。

〈音量調節／消音〉

●**音量調節：**音量＋／–ボタンで音量調節を行ないます。

●**消音：**一時的に音量をゼロにします。消音ボタンを押す毎に消音／出音が切り替わります。

※音量レベル 00 の時や「消音」状態になっているときは音声は出力されません。

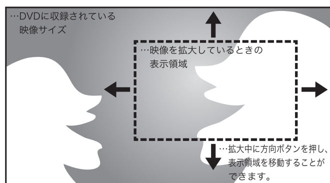
〈スロー再生〉

…再生中にスローボタンを押すと、遅い速度で再生を行ないます。スローボタンを続けて押すことで再生速度が切り替わります。スロー再生は再生ボタンを押すことで解除できます。

※スロー再生中は音声は出力されません。

〈画面の拡大〉

…再生中にズームボタンを押すと、映像が拡大表示されます。ズームボタンを押す毎に倍率が切り替わります。また、拡大中に上下左右方向ボタンを押すと表示領域が移動します。



〈繰り返し再生〉

●**リピート**：再生中にリピートボタンを続けて押すことで、繰り返し方が切り替わります。〈チャプタ繰り返し→タイトル繰り返し→全てを繰り返し→繰り返し解除〉

● **A-B リピート**：指定した区間を繰り返し再生します。再生中にリピート A-Bボタンを押すと、繰り返しの始点 A を指定、続けて押すと終点 B を指定します。終点 B を指定した直後、繰り返し再生が始まります。繰り返し中に A-B ボタンを押すと繰り返し再生が解除されます。

〈プログラム〉

…プログラムボタンを押すと、プログラム画面の表示／非表示が切り替わります。
方向ボタンで選択カーソルを移動し、数字ボタンでタイトル・チャプタを指定します。プログラムが完成後、下段の「開始」を選び決定ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

プログラム　※T:タイトルを入力／C:チャプターを入力

T C	T C	T C	T C
1--:--	5--:--	9--:--	13--:--
2--:--	6--:--	10--:--	14--:--
3--:--	7--:--	11--:--	15--:--
4--:--	8--:--	12--:--	16--:--
		再生	クリア

プログラム再生中にプログラム画面を表示させて、下段の「停止」を選択して決定するとプログラムが消去されます。

※ VR モード・CPRM ディスクではプログラム指定ができません。

〈アングルの切り替え〉

…複数のアングルが収録されている DVD では画面にアングル切り替えが可能なことを示すマークが表示されます。この時、アングルボタンを押す毎に映像アングルが切り替わります。
複数のアングルが収録されていない DVD では、アングル切り替えはできません。

〈音声言語の切り替え〉

…複数音声が収録されている DVD は音声ボタンを押す毎に音声言語が切り替わります。

〈字幕言語の切り替え〉

…字幕が収録されている DVD はサブタイトルボタンを押す毎に字幕の種類や有無が切り替わります。

▶音声・字幕言語は次の方法で切り替えができます
［リモコンの音声・サブタイトルボタン／ DVD ソフトのメニュー画面／セットアップボタンで表示される設定画面］…DVD によっては、いずれかが無効になる場合もあります。

〈サーチ画面〉

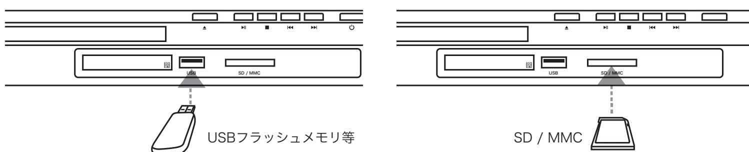
…サーチボタンを押す毎に、サーチ画面の表示／非表示が切り替わります。この画面ではタイトルやチャプタ番号を指定して再生場面を呼び出すことができます。

[タイトル・チャプタ・時間の指定]：タイトルやチャプタ、時間等の項目上では数字入力することで任意の再生場面に移動することができます。方向ボタンで入力カーソル（白い反転）を移動し、数字ボタンを使って任意の場面を指定後に決定ボタンを押すと､指定した場面にジャンプします。

※ DVD によっては、タイトルの番号を入力できない場合があります。

各種メディアの再生

データディクス、SD / MMC や USB メモリに保存したデータを読み込ませます。



[各種メディアを接続する時は、次のことをご確認ください]：

●パソコン用ドライバソフトを必要とするものは、接続しても使用することができません。また､パソコン専用デバイス（ワンセグチューナーや通信機器等）は使用できません｡パスパワーで動作するタイプのハードディスク等は電力が足りないため動作しない場合があります。

● FAT / FAT32 フォーマットに対応しています。

● PC やレコーダーを使って作成したメディアは互換性により再生できないものもあります。映像ファイルに関しては応用範囲も多岐に渡り、規格内容も複雑です。ファイル形式や圧縮コーデックによっては再生できない場合があります。

●大きいサイズのデータや、フォルダの階層が複雑な場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

●英数字のファイル名のみに対応しております。日本語や長過ぎるファイル名は文字化けや認識エラーが生じます。ファイル名の先頭に「. 」のついた不可視ファイルがあると、正常に読み込みません。挿入前にパソコンで削除してください。

通常はプレーヤーに各種メディアを挿入すると自動的に読み込み始め、メディア再生画面が表示されます。

自動的にメディア再生画面が表示されない場合や、複数のメディアが挿入されている場合は、手動で再生させたいメディアを選択します。リモコンのリターンボタンを押すと、メディアの選択画面が表示されます。方向ボタンと決定ボタンで読み込みメディアを選択・確定してください。

[メディア再生画面]：

データディスクを読み込ませると右図のようなファイルリストが表示されます。

方向ボタンで再生ファイルを選び、決定ボタンで確定するとファイル再生が始まります。



[注意]：最下段のファイル種類アイコンは挿入メディア内に該当ファイルが無い場合は選択できません。

[メディア再生画面内の操作]：

図中の左側のリストはフォルダリストです。フォルダを選択して決定ボタンを押すと、フォルダの中に入っているファイルが右ウィンドウに一覧表示されます。

右側のファイルリストから再生ファイルを方向ボタンで選択し、決定ボタンで再生します。停止ボタンを押すと再生が止まります。

フォルダリスト選択中に左ボタン、またはファイルリストを選択中に右方向ボタンを押すと選択枠が下の３つのアイコンに移動し、再生ファイルの種類を選択できます。アイコンは左から順に音声、画像、動画を表します。

4 セットアップ画面各種設定

■設定画面内の操作

…セットアップボタンを押すと下図に示すセットアップ画面が開きます。

[手順 1]：方向ボタンの左右で最上段のカテゴリアイコンを選択をします。設定したいカテゴリを選び、方向ボタンの下を押して各種設定項目に移動します。

[手順 2]：上下方向ボタンで設定したい項目を選択して決定ボタンを押すと、切り替え項目が画面右側に表示されます。

[手順 3]：上下方向ボタンで選択して決定ボタンを押すと設定が切り替わります。

■設定可能なカテゴリ



①システム設定

…本体システム関連の設定



②言語設定

…言語・字幕表示の設定



③オーディオ設定

…音声関連の設定



④映像出力

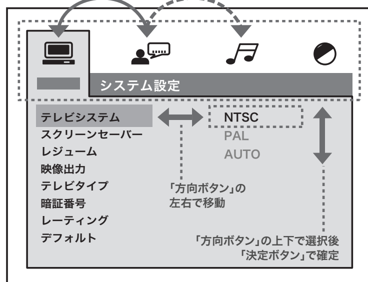
…映像関連の設定

セットアップ画面表示中にリモコンのセットアップボタンを押すと、画面が閉じられます。

「方向ボタン」の左右で移動

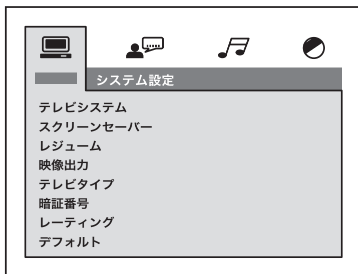
最上段にあるアイコンから、設定したいカテゴリーを「方向ボタン」の左右で選択後「方向ボタン」の下を押して下段の各種設定項目に進んでください。
（下図では一番左のシステム設定が選ばれています）

「方向ボタン」の上下で移動



①システム設定

レジューム機能や視聴制限、工場出荷時の設定に戻す等の本体システムに関する設定が行なえます。



■テレビシステム

国別で採用されているテレビシステムをNTSC ／ PAL ／オートから選択します。

※接続する外部機器に合わせて設定します。日本国内で採用されているテレビシステムは NTSC です。**通常は NTSC またはオートを選択します。**設定を誤ると映像を正しく映し出すことができません。誤って切り替えることのないようにご注意ください。

※リモコンの P/N ボタンでも切り替えが可能です。こちらも誤って切り替えてしまわないようにご注意ください。

■スクリーンセーバー

オンに設定すると、停止状態のまま一定時間経過した時にスクリーンセーバーが作動します。復帰させる時はボタン操作をしてください。

■レジューム

オンに設定すると DVD 再生途中で電源を落とした場合、次回再生をさせた時に前回停止した場面の続きから始まります。

※ VR モード・CPRM 等の録画ディスクはレジューム機能が働きません。

■映像出力

映像出力の接続方法に応じて、設定してください。

・INTERLACE-YUV…D 映像、及びコンポーネント映像端子で接続している時に選択します。

・S-VIDEO…コンポジット映像、及び S 映像端子で接続している時に選択します。

※設定を誤ると映像が乱れ、正常に映し出すことができません。リモコンの「映像出力」ボタンでも切り替えが可能です。

■テレビタイプ

16：9 の映像比率で収録された DVD を 4:3 比率のテレビ画面に出力する時の表示方法を切り替えます。

・ 4：3PS…16：9 比率の映像の左右を隠し拡大して表示させせます。

・ 4：3LB…映像比率はそのままに、全体を縮小して上下の余白に黒い帯を表示させせます。

・ 16：9…16：9 比率の映像を画面一杯に伸縮して表示させせます。ワイド型テレビはこちらを選択してください。

※ DVD ソフトによってはいずれかに対応しないことがあります。

■暗証番号

暗証番号を打ち込んでロックを解除します。

次にご紹介する項目の「レーティング（視聴制限)」を切り替える際、事前にロックを解除する必要があります。暗証番号は「0000」です。数字を打ち込んで決定ボタンを押す毎にロック／ロック解除が切り替わります。

■デフォルト

デフォルト→復元を選択して決定ボタンを押すと、本セットアップ画面で切り替えていた設定が出荷時の状態に戻ります。

■レーティング

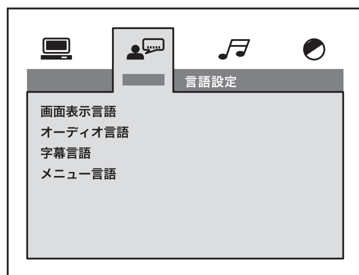
視聴年齢制限の設定を行います。数字が小さいほど、年齢制限が厳しくなります。設定された年齢制限を超えた DVD は再生できません。また、ここで設定を切り替える時にはロックを解除する必要があります（前項目の「暗証番号」参照)。

1 KID SAFE	…幼児がご覧になっても問題ありません。
2 G	…お子様がご覧になっても問題ありません。
3 PG	…お子様にとって不適切なシーンがあります。
4 PG13	…13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
5 PG-R	…17 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
6 R	…17 歳未満の方は保護者の同伴がないとご覧になれません。
7 NC-17	…17 歳未満の方はご覧になれません。
8 ADULT	…18 歳以下の方はご覧になれません。

※ここで年齢制限の設定を行っても DVD ソフトの作成状態によっては無効になる場合があります。

②言語設定

字幕やオーディオ言語、本セットアップ画面の表示言語等を切り替えます。



■画面表示言語

本セットアップ画面で表示させる言語を日本語もしくは英語から選択します。

※本取扱説明書は、ここで「日本語」が選択されている状態を想定して作成されています。英語版取扱説明書のご用意はありません。予めご了承ください。

■オーディオ言語

DVD 再生時の音声言語を選択します。

次の中から選択してください。

■字幕言語

DVD 再生時の字幕言語を選択します。

次の中から選択してください。

③オーディオ設定

オーディオ関連の設定が行なえます。

■オーディオ出力

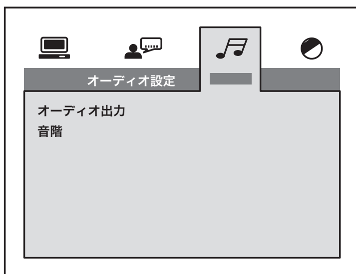
スピーカーセットと接続し、デジタル音声出力を行っている場合に設定が必要です。

- アナログ…デジタル音声出力を行いません。アナログを選択していると、接続スピーカーから音声は出力されません。
- SPDIF/RAW…デジタル音声出力を行います。5.1ch 以上のスピーカーに接続した場合、サラウンド音声を再現することができます。
- SPDIF/PCM…DolbyDigital のデジタル音声をリニア PCM に変換して出力します。

■メニュー言語

DVD ソフトのメニュー画面で使用する言語を選択します。次の中から選択してください。

・中国語	・英語
・日本語	・スペイン語
・フランス語	



■音階

音声出力の音階を調節します。音階を変えない場合は 0、高くしたい場合は上、低くしたい場合は下方向に目盛りを設定してください。

④映像出力

画面表示に関する調節が行なえます。

各々項目選択後に決定ボタンを押すと、目盛りが表示されます。上下方向ボタンで調整後、決定ボタンで確定してください。



5 故障かな？ と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は､こちらのトラブルシューティングをお読みください｡不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

巻頭に記載の注意書き、及び本トラブルシューティングをお読みになっても問題が解決されない場合は､保証書の内容をご確認の上で弊社サポートセンターまでご連絡ください。

主な不具合の原因と、その解決方法

本体の電源が勝手に切れてしまう

○スクリーンセーバーがオンになっている時に再生をさせず一定時間が経過すると、画面焼き付き防止のためのスクリーンセーバーが起動します。

リモコンが効かない

○リモコン先端の発光部分を、プレーヤー本体の受光部に向けて操作してください。

○プレーヤー本体のリモコン受光部の前に障害物があれば取り除いてください。

○本製品のリモコンに付属している電池は動作確認用であり長期間使用できません。

○電池切れになっていませんか？　電池を交換してください｡本製品のリモコンに使用する電池は､単四型乾電池が２本です（マンガン乾電池推奨)。また､電池の向きが正しいか確認してください。

○ DVD の場面によってはボタン操作が効かない場合があります。

音声が出ない

○消音ボタンが押されていて、消音状態になっていませんか？

○ DVD プレーヤー、接続テレビの音量が０になっていませんか？

○巻戻し／早送り／スロー／一時停止／コマ送りの状態になっていませんか？

○音声ケーブルは正しく接続されていますか？

○デジタル音声出力を使用している場合、セットアップ項目「オーディオ出力」が「アナログ」に設定されていると、音声が出ません。「SPDIF / RAW」もしくは「SPDIF / PCM」を選択してください。

接続したテレビから映像が出ない

○テレビとの接続、および接続ケーブルを確認してください。

○テレビの電源が入っていて、テレビの切替で接続した端子が選ばれていることを確認してくださ

い（テレビ入力切替…ex. 外部入力やビデオ 1 等）。

接続したテレビの映像が乱れている

○ビデオ一体型のテレビやビデオデッキに接続すると、映像が乱れて視聴できません。これはマクロビジョンコピーガードが働いているためです。テレビのビデオ入力端子に直接接続してください。また、一部のビデオ一体型テレビは視聴中にもコピーガードが働くことがあります。詳しくは、ビデオ一体型テレビのメーカーにお問い合わせください。

○画面が白黒になって上下に流れている表示の場合は、P / N ボタンを数回押して、テレビシステムを NTSC に戻してください。

○ S 端子を使用している時、セットアップ項目「映像出力」が「INTERLACE_YUV」に設定されていることが考えられます。「S-VIDEO」に切り替えてください。

○ D 端子を使用してテレビに接続している場合、セットアップ項目「映像出力」が「S-VIDEO」に設定されていることが考えられます。「INTERLACE_YUV」に切り替えてください。

ディスクが再生できない

○ディスクが汚れている場合は、ディスクをクリーニングしてください。

○ディスクが破損していませんか？　他のディスクを再生して確認してください。

○ディスクが裏面になっていませんか？　レーベル面を上にしてセットしてください。

○ DVD-RAM は本製品ではサポートしておりません。

○温度差によって結露が生じている場合があります。周囲の温度になじませてから試みてください。

○ DVD のリージョンコードを確認してください。本製品で再生可能な DVD のリージョンコードは 2 です。それ以外のリージョンコードを持つ DVD は再生できません。

○再生するディスク（特に作成ディスク）によっては再生中の一部動作と操作、及び設定が機能しない場合があります。

○お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（DVD-R/RW 等）については、レコーダーやメディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。特に VR モード、CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります（DVD-R/RW、VR モード、CPRM ディスクにつきましては、必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください）。

○ご自身で作成したメディアは読み込みに多少お時間がかかる場合があります。また、再生上の不具合が出た場合は一度ディスクを取り出して再度挿入すると、読み込み始める場合がありますのでお試しください。[補足]：録画ディスクの再生時は、レジューム機能が効きません。

メニューの言語が外国語になっている

○セットアップ画面の「言語設定」＞「画面表示言語」で日本語を選択してください。

リモコンのサブタイトルボタンを押しても字幕の言語が変更できない

○ DVD の仕様によっては、ディスクメニューでのみ変更ができるようになっています。

○複数音声を収録していない DVD では、音声の切り替えができません。

リモコンの音声ボタンを押しても、音声の切り替えができない

○ DVD の仕様によっては、ディスクメニューでのみ変更ができるようになっています。

○複数音声を収録していない DVD では、音声の切り替えができません。

背が高い、低い

○セットアップ画面内→オーディオ設定→音階が 0 以外になっていることが考えられます。変更されている場合は 0 に戻してください。

製品仕様／お問い合わせ

製品名	CPRM 対応　DVD プレーヤー
製品型番	DS-DPC261BK（ブラック）
本体寸法	260 × 260 × 38mm（横幅 × 奥行 × 高さ）
本体重量	1.48kg
電源	AC100V - 240V　50 - 60Hz
消費電力	10W ／待機時 1W
周波数特性	CD　　4Hz ～ 20Hz（±3dB） DVD　48KHz：4Hz ～ 22Hz（±1dB）／ 96KHz：4Hz ～ 44Hz（±1dB）
S ／ N 比	≧ 90dB
歪率	≧ 0.1%
入力端子	USB、SD / MMC
出力端子	(映像)：D1 映像、コンポーネント映像、S 映像、コンポジット映像 (音声)：デジタル音声、2ch 音声
再生可能メディア	DVD、DVD-R/RW、CD、CD-R、CD-RW、USB フラッシュメモリ、SD / MMC
再生可能ファイル	[画像ファイル .jpg]、[音声ファイル .mp3]、[映像ファイル .avi / .mpg] (映像コーデック：mpeg1/mpeg2、音声コーデック：mp2/mp3)
動作環境	温度：5 ～ 35° C
製造国	中国

※本製品の外観や仕様は改良のため予告無く変更する場合があります。

※本製品を使用する前に必ず本書の注意事項をお読み頂き、用法を守り正しくお使いください。

※再生可能メディア・ファイルについて…パソコンやレコーダーを使ってご自身で作成されたもの、及び VR モードやデジタル放送を録画した CPRM 規格のディスクについては作成環境によっては再生できない場合もあり、全ての挿入メディアの動作を保証することはできません。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。